

## 週日の説教

金 大烈 神父 2010年12月9日(木)

《さまよっている人々の光となりましょう》

- 力づくで攻められる時代、何が真実か分からない時代に - 》

今日読まれた福音(マタイ 11・11 15)は、洗礼者ヨハネについての話なのですが、その中に隠れている主のメッセージを理解する必要があります。

このような表現が出てきましたね。「天の国は力づくで襲われており、激しく襲う者がそれを奪い取ろうとしている。」では、『力づくで襲われている』ということはどういうことでしょうか。それは『暴力で攻められている』ということです。『力づく』というの、優しい言葉ではありません。暴力を使って奪おうとする心が含まれています。日本語では「力づくで襲われており」と表現されていますが、他の国の言葉の訳では「暴力をふるう」とはっきり表現しています。

イエス様が現れるまで、つまり洗礼者ヨハネが現れるまでは、預言者達の口を通して暴力についてよく語られていました。そしてイエス様は、今の時代も同じだとおっしゃいました。結局、暴力をふるう者が奪い取ろうとする社会によって、イエス様も十字架につけられたのです。

では、2000年経った今の時代はどうでしょうか。率直に申し上げますと、暴力で奪い取られる傾向は更に激しくなっているのでしょうか。そして「暴力をふるう者」は、いろいろな仮面をかぶっています。天使なのか悪魔なのか判断できないくらいの技を使って、人々をだましながら暴力をふるっています。そのような時代に、私たちは生きています。これは、嘘ではありません。

ある人はこのように言います。「昔は厳しい時代だった。食べ物も少なく、手に入るものもそんなに多くはなかった。だから、信仰の生活もしやすかった。しかし、今はしなければならぬことがたくさんあって、教会で信仰の生活をする暇さえない。」と。実際にそのような考えから、教会はだんだん人々が減ってしまい、いつか誰もいなくなるのではないかとされています。しかし、逆に考えてみますと、昔より今の時代のほうが、もっとみ言葉が必要な時代だと私は思います。私たちは、暴力が昔より激しくなった時代、何が偽りで何が真実か全然分からない時代に住んでいるのです。ですから、今のような時代こそ、福音が力を発揮する時代なのだと思います。

この福音を通して皆様をお願いしたいことは、迷い込んでいる人々、さまよっている人々に、皆様が洗礼を受けた時にいただいたろうそくの光のような役割を果たしてほしい、ということです。皆様の周りにも、闇の中で迷っている人がたくさんいると思います。また、笑いながら「私は最高の環境にいる。私の道は誰の道よりも望ましい道だ。」と言いながら、間違えた道を歩んでいる人々もたくさんいると思います。そのような人々に、まずもどかしい心を持ちましょう。どうしたらよいかという憐憫の情を感じながら、そのような人々のために祈ってください。そして手を伸ばす具体的な行動を起こしてください。

しばらく前からずっと宣教について強調させていただいています。今日の福音も同じように理解すればよいと思います。私たちは今、イエス様の時代よりもっと激しくイエス様の福音を必要としている時代に住んでいます。それをもう一度意識しましょう。そして、人間の知能が、人間のいろいろな科学的な欲が成し遂げたことが、人々を更に迷わせてしまうことがあることも意識しましょう。本当に真実であり、道であり、光であるイエス様と共に導くことができれば、一番ふさわしい私たちの姿になるのではないかと思います。

よろしくお願ひ致します。